

主な出来事

【内政】

- ルアンダ州封鎖の期限が11月22日まで延長された(当館注:11月に入り12月22日まで、更に12月に入り1月10日まで延長)。
- 10月9日、新型コロナウイルスにより、セルジオ・ルーサー・レスコヴァ・ジョアキン／ウイジェ州知事(前ルアンダ州知事)が亡くなった。
- 10月14日、検察は、ドス・サントス前大統領の側近であったコペリパ元大統領府武官長等の不正行為をめぐる取調を開始し、中国国際基金(CIF)が所有する資産の差押えを発表した。

【外交】

- 10月2日、澤田駐アンゴラ日本国大使が3年9ヶ月に亘るアンゴラでの勤務を終え離任した。
- 10月7日、ロウレンソ大統領は、ビデオ会議で開催された大湖地域国際会議(ICGLR)サミットに出席した。
- 10月7日、中国湖北省武漢市の感染ピークに対応した医師団が当地に到着した。

【経済】

- 10月8日、経済企画省は、2020年の実質GDP成長率を-2.8%、2021年を1%と予測した。
- 2020年第2四半期の実質GDPは、前年同期比8.8%減であった。
- 9月中にユーロ債の金利が10.79%から12.75%に上昇し、アフリカではザンビアに次いで高い水準となった。

内政

1. COVID-19 関連措置

(1) 10月8日、ルアンダ州の封鎖が11月7日まで延長された。また、アンゴラ人および外国居住者の再入国やアンゴラで職務にあたる外国人の入国等を例外として、国境封鎖が維持された(10月8日付大統領令第256/20号)。

(2) 10月23日、ルアンダ州の封鎖が11月22日まで延長され、上記(1)の例外を除き、国境封鎖が維持された(当館注:11月に入り12月22日まで、更に12月に入り1月10日まで延長)。また、レストランの店

内での飲食許可時間帯が毎日6時から22時から毎日6時から16時に短縮されるなど、行動制限が一部引き締められた(10月23日付大統領令第276/20号)。

2. その他 COVID-19 関連

(1) 10月31日時点における国内の累計感染者数は10,805名(内、累計死者数284名、累計治癒者数4,523名)。10月は新規感染者数が過去最多であった(GOV 11/1)。

(2) 10月8日、ナミベ州において最初の感染者が確認され、全18州に感染が拡大した(GOV 10/9)。

3. ウィジェ州知事の死去、新知事の任命

(1) 10月9日、新型コロナウイルスに感染し闘病中であったセルジオ・ルーサー・レスコヴァ・ジョアキン／ウィジェ州知事（前ルアンダ州知事）が亡くなった([NJ 10/9](#))

(2) 10月22日、ウィジェ州新知事にジョゼ・デ・カルヴァーリョ・ダ・ロッシヤ前通信・情報技術大臣が任命された([NJ 10/22](#))。

4. カビンダ独立戦線 (FLEC) 関連

(1) 10月2日、カビンダ独立戦線 (FLEC) は、アンゴラ国軍による非武装民間人への襲撃により4名の子供を含む計6名が死亡したと非難した([A024 10/2](#))。

(2) FLEC は、COVID-19 の世界的感染拡大を受けグテーレス国連事務総長が呼びかけている「即時の停戦」要求に応じ、停戦する旨発表した。今回が二度目の停戦発表である([OBS 10/7](#))。

(3) 10月15日、FLEC は、ムハンマド・ブハリ／ナイジェリア大統領およびモハンマド6世／モロッコ王に対し、カビンダのアフリカ連合へのオブザーバー参加に向けた支援を要請した([DW 10/15](#))。

5. 財務大臣による全国州知事との会合開催

10月5日、ヴェラ・ダヴェス財務大臣は、全国州知事18名とビデオ会議を実施し、民営化プログラム (PROPRIV)、地方自治体連携統合計画 (PIIM)、2021年予算案等に関する意見交換を行った([A024 10/6](#))。

6. 前政権の汚職による被害

ロウレンソ大統領は、ウォールストリートジャーナルのインタビューに応じ、ドス・サントス前政権時の不正による被害額は合計約240億米ドルに上り、これまでに現金や資産等の合計約49億ドルが回収されたと述べた([WSJ 10/10](#))。

7. 中国国際基金 (CIF) ・前政権要人不正行為関連

(1) 10月14日、検察は、ドス・サントス前大統領の側近であったコペリパ元大統領府武官長、および、ディノ元軍事司令官の不正行為をめぐる取調開始に

際し、中国国際基金 (CIF) が所有する資産の差押えを発表した。CIF 関連企業に加え、コペリパ前武官長及びディノ前軍事司令官が保有する Biocom (バイオエネルギー関連)、Kero (スーパー) 等の株を押収した([EX 10/14](#))

(2) エスプレッソ紙がアンゴラの某石油企業から入手した情報によれば、ソナンゴルが徐京華 (サム・パ) 氏 (当館注: かつて中国企業群を率い対アンゴラ投資を牽引した中国人企業家、不正行為により受刑中) に対して不正に支払った金額は、約20億30万ドルに上る([EXP 10/18](#))。

8. 大統領による国会開会演説

10月15日、国会開会に伴いロウレンソ大統領は演説を行い、コロナ渦において情勢は厳しくなりつつも、政府が感染対策、経済安定化及び経済多角化に向けた努力を継続している旨強調した([GOV 10/15](#))。

9. 2021年国家開発計画の承認

10月23日、2021年国家開発計画が閣議で承認された。70件の中・長期計画の下、8,815件の優先事業・活動が実施される予定である([GOV 10/23](#))。

10. 海洋監視施設の設立

ベンゲラ州ロビト市とナミベ州ナミベ市において、海洋監視施設が設立される予定。建設事業はポーランド企業 Quenda 社が約2,800万ドルで受注した([VE 10/14](#))。

11. 若者を中心とした抗議運動の活発化

(1) 10月24日、ルアンダ市において、地方選挙実施や生活向上を求める若者を中心に抗議デモが実施された([DW 10/24](#))。

(2) 10月26日、ルアンダ州裁判所において、24日のデモ中に逮捕された103名の裁判が開始された。裁判所前において、同市民の解放を求める約200名の市民が抗議デモを実施した([VOA 10/26](#))。

(3) 11月2日、同抗議デモに係る訴訟に関し判決が下され、26名が無罪となった他、71名が災害事態宣言による密集禁止の不履行により懲役1ヶ月相

当の罰金を科された。その他 6 名のジャーナリストが逮捕されていたが、判決前に無罪として放免された([DW 11/2](#))。

12. 文化大臣の交代

10月26日、アジャニ・ダ・コスタ文化・観光・環境大臣が罷免され、ジョモ・フランシスコ・イザベル・デ・カルヴァーリョ・フォルトゥナート氏が新大臣に任命された([JA 10/27](#))。

13. サバクトビバッタ襲来

クアンド・クバンゴ州にサバクトビバッタが襲来し、少なくとも 2,500 人分の作物が被害を受けた。2019 年に干ばつの被害を受けたこともあり、同州における食糧不足が懸念される([NAM 10/26](#))。

14. マランジェ州の農家への融資枠の拡充

商業的農業開発計画(PDAC)のもと、マランジェ州で農業を行う中小企業及び農業組合に対し、合計 2,300 万ドルの融資枠が設けられた([EX 10/13](#))。

15. シンディカ・ドコロ氏死去

10月29日、ドス・サントス前大統領の娘婿(イザベル・ドス・サントス氏夫)であるシンディカ・ドコロ氏がドバイで亡くなった。一部報道では、死因は「ダイビング中の事故」と報じられているが真相は不明([DW 10/29](#))。

外交

1. 澤田大使の離任

10月2日、澤田駐アンゴラ日本国大使が3年9ヶ月に亘るアンゴラでの勤務を終え離任した([離任挨拶文](#))。

2. 中部アフリカ諸国経済共同体一行の公式訪問

10月5日、ジルベルト・ヴェリッシモ／中部アフリカ諸国経済共同体(ECCAS)事務局長率いる一行がアンゴラへの公式訪問を開始し、テテ・アントニオ外

務大臣を表敬した。同事務局長は、ECCAS 統合のためにはアンゴラの協力が必要だと強調した。また、公式訪問中にロウレンソ大統領、シルヴィア・ルトウクータ保健大臣等を表敬した([VG 10/6](#))。

3. 大湖地域国際会議(ICGLR)サミットの開催

10月7日、ロウレンソ大統領は、ビデオ会議で開催された大湖地域国際会議(ICGLR)サミットに出席し、コンゴ(民)、ルワンダ、ウガンダの各国大統領(ブルンジは欠席)と同地域安定化に向けた協力強化について意見交換を行った([OBS 10/8](#))。

4. 中国からの医師団の派遣

10月7日、中国湖北省武漢市の感染ピークに対応した医師団が当地に到着した。15日間の滞在期間の間、アンゴラ人医療従事者に対し、新型コロナウイルスの治療に関する指導を実施する(当館注:11月11日にミッションを終え帰国)([VA 10/8](#))。

5. 米国が地雷除去への追加支援を表明

10月19日、米国政府は、アンゴラで地雷除去事業を実施する国際NGO(HALO Trust、MAG)の活動支援のため、追加で1,110万ドルを寄付する旨表明した([米大HP](#))。

6. ノルウェーと教育分野でMOU締結

10月12日、アンゴラ政府とノルウェー政府は、教育分野のMOUを締結した。アンゴラ人の教員を対象に、ノルウェー科学技術大学における教育学修士／博士の学位取得プログラムの実施等を通して教育分野での協力関係が強化される見込み([JA 10/13](#))。

7. ロシア政府による医療物資の寄贈

10月21日、ロシア政府はアンゴラ政府に対し約18トンの感染予防物資を寄贈した他、新型コロナウイルス(COVID-19)の予防ワクチン製造施設の設定に関する提案書を提出した([OBS 10/22](#))。

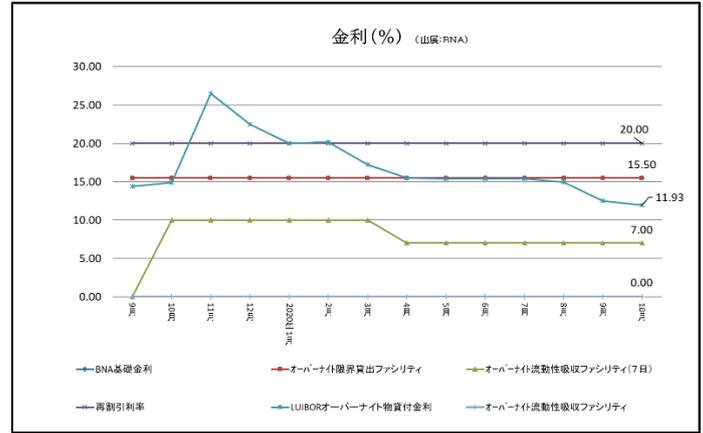
8. 北朝鮮「大使」による国会議長との非公開会合

10月28日、ジョ・ピョン・ Chol 駐アンゴラ北朝

鮮「大使」は、ドス・サントス国会議長と非公開会合を実施し、アンゴラとの議会協力を拡大したいとの意向を示した(アンゴラ議会 HP 10/28)。

9. FAO と共同で農業関連事業を実施

10月28日、アンゴラ政府とFAOは、農業分野における協力協定を締結した。AgroProdesi 計画のもと、農業分野における研究開発を強化することで、国産の農産物の生産増加や農業の市場経済活性化、農業技術の普及などを目指す(PRODESI)。



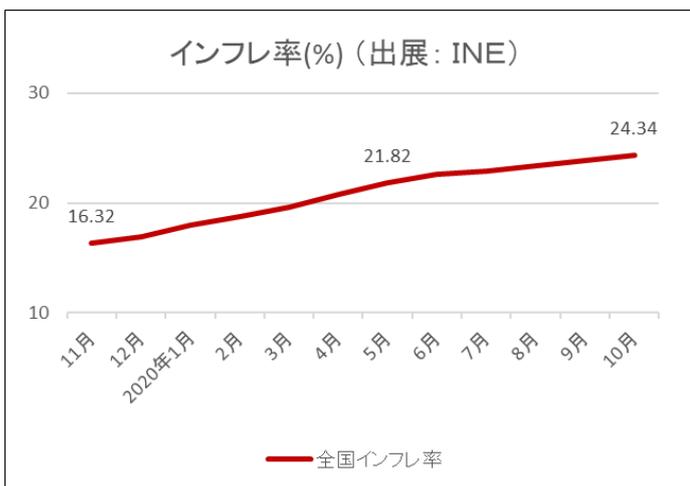
経済

1. 主要経済指標

(1) 物価

国家統計院(INE)が発表したアンゴラ全国版の10月期年間インフレ率は、24.34%。月間物価上昇率は1.81%。

最も物価上昇に影響を与えたのは、食料品・非アルコール飲料(1.02%)、衣類(0.14%)、家具、家財、メンテナンス(0.13%)、モノ・サービス(0.14%)。



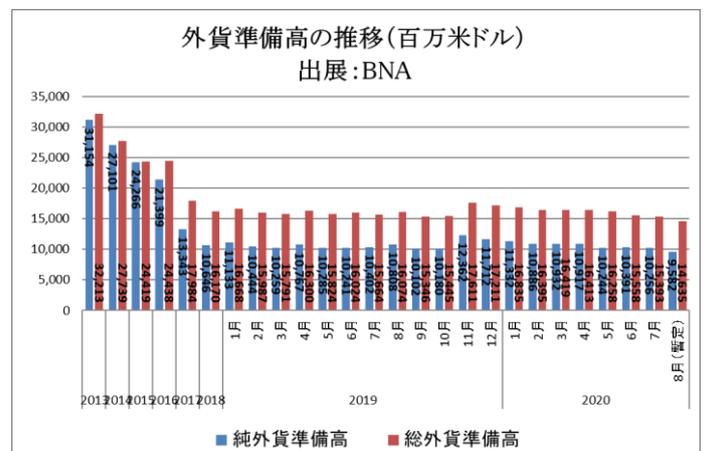
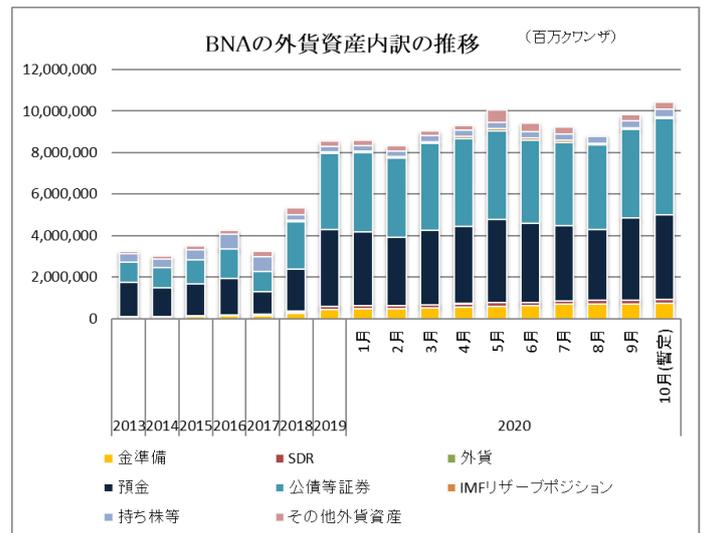
(2) 金利

金融政策委員会(CPM)は開催されず。

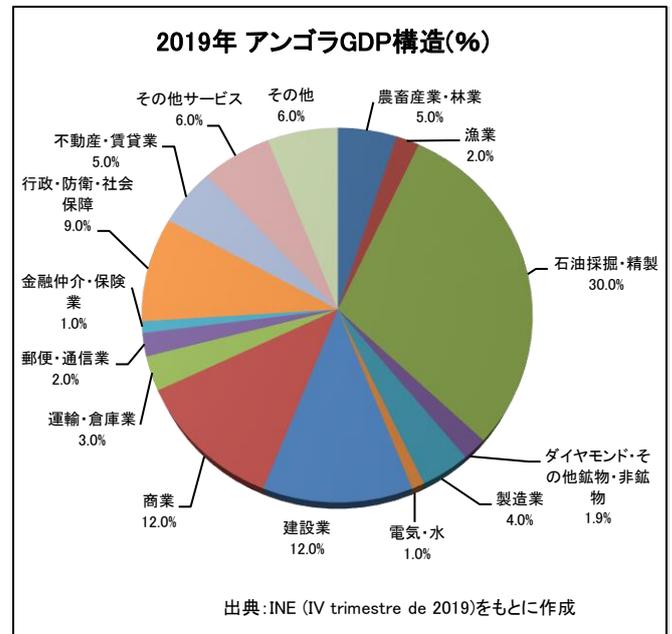
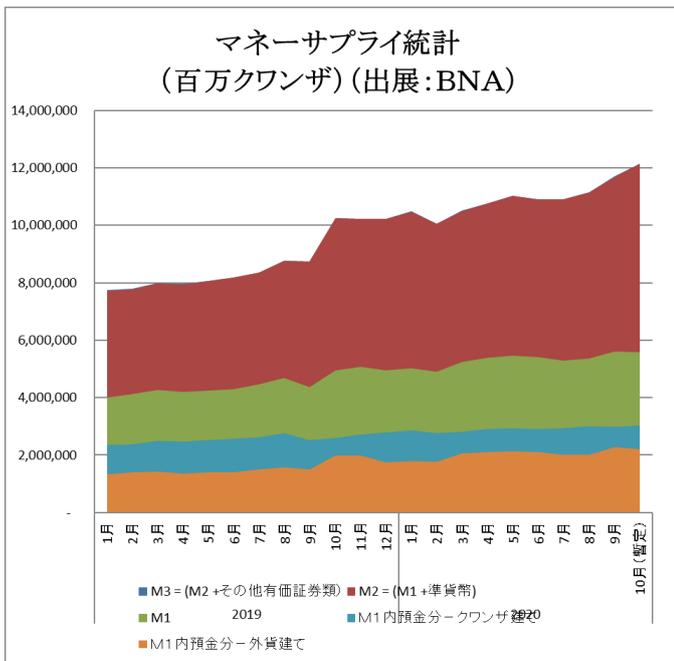
(3) 為替市場

10月31日、為替相場は1USD=664.16782 AKZで推移。

(4) BNA 発表の外貨準備高統計

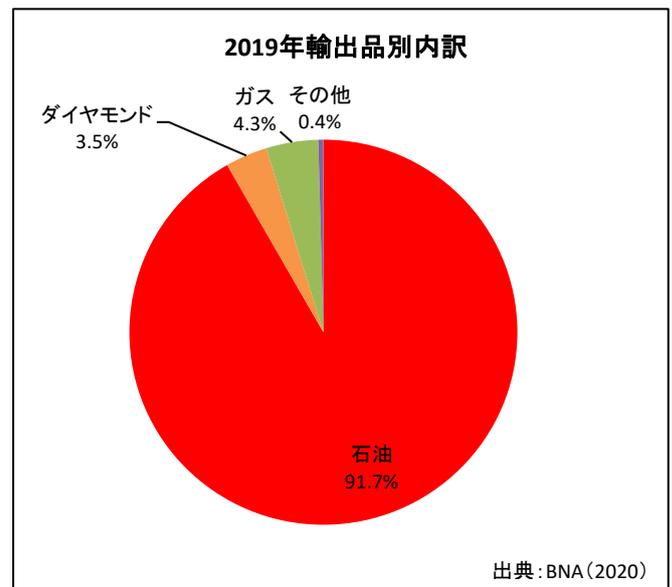


(5) マネーサプライ統計



(7) 主要貿易統計

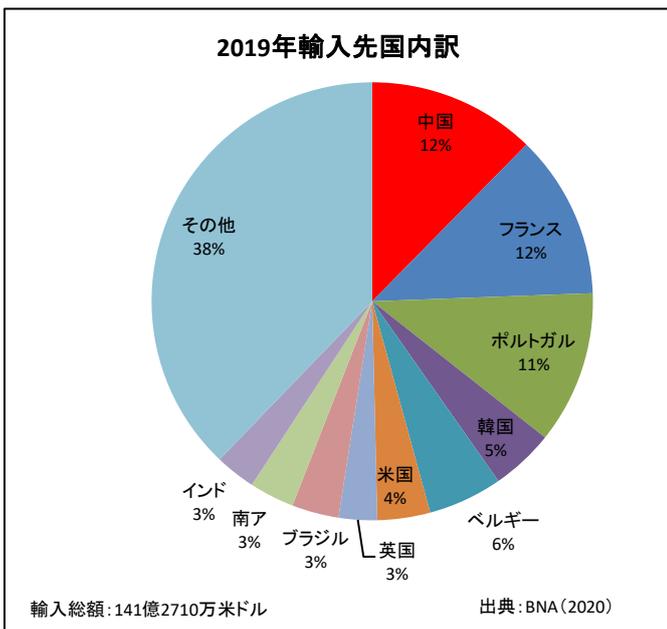
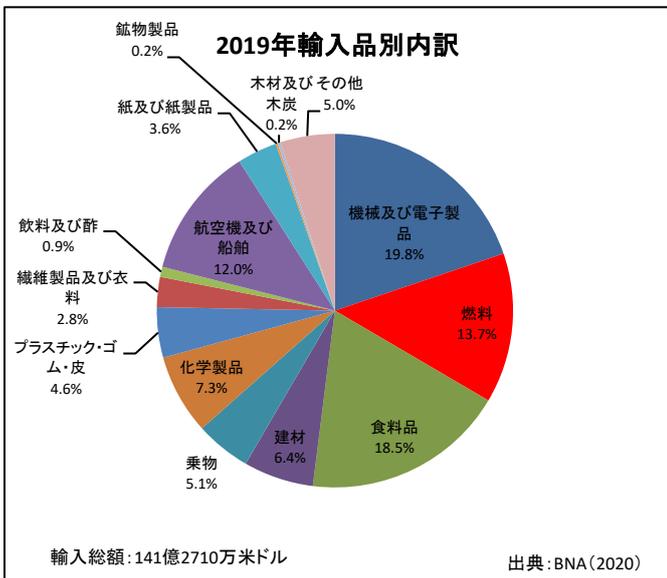
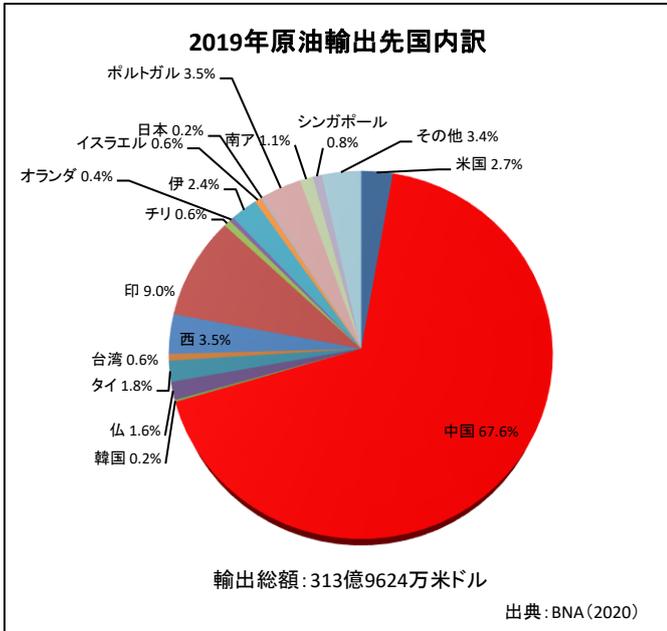
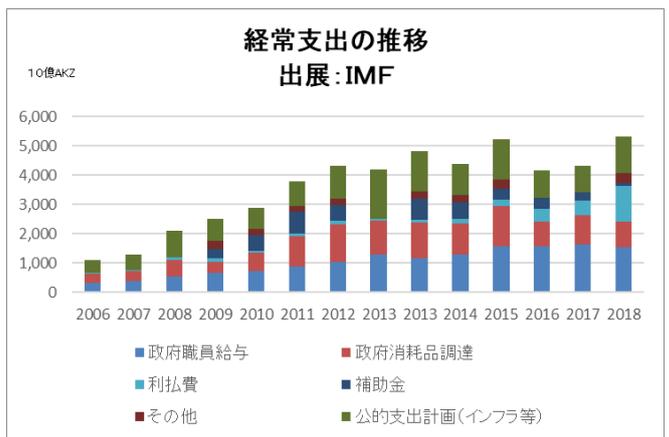
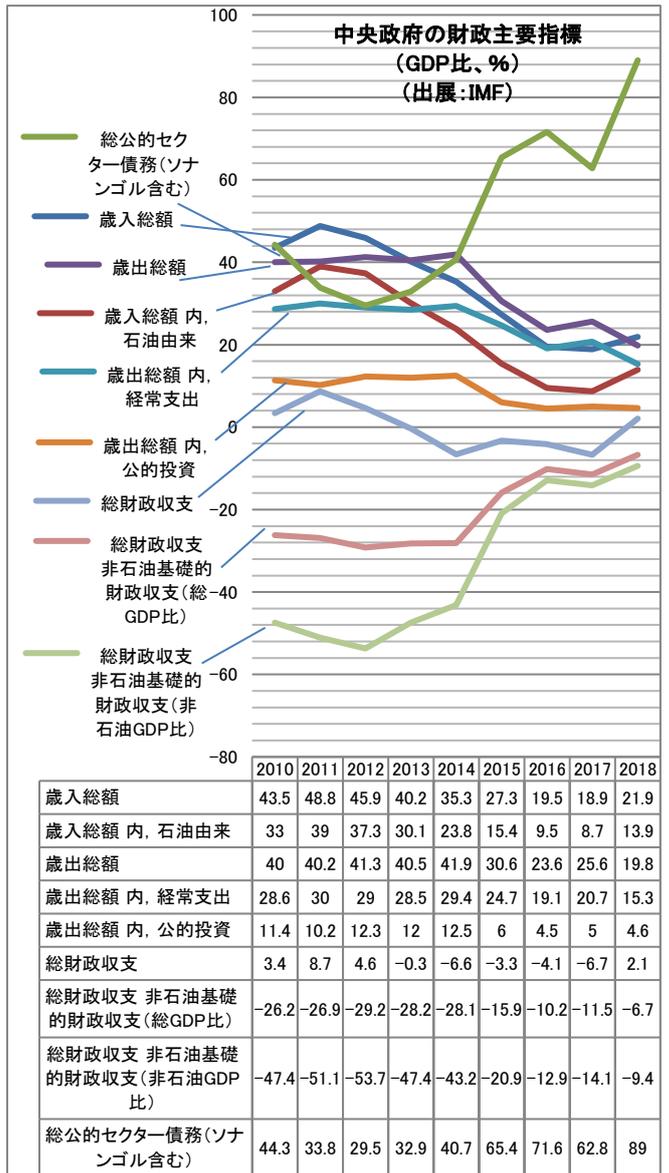
2020年			百万クワンザ
8月	9月	10月	
11,155,745	11,697,887	12,156,697	M3 = (M2 + その他有価証券類)
11,150,866	11,692,942	12,151,684	M2 = (M1 + 準備貨幣)
5,364,286	5,610,030	5,588,581	M1
344,144	356,620	358,427	M1内現金等流通分
5,020,142	5,253,410	5,230,154	M1内預金分
3,006,501	2,970,224	3,036,943	M1内預金分-クワンザ建て
2,013,641	2,283,186	2,193,211	M1内預金分-外貨建て

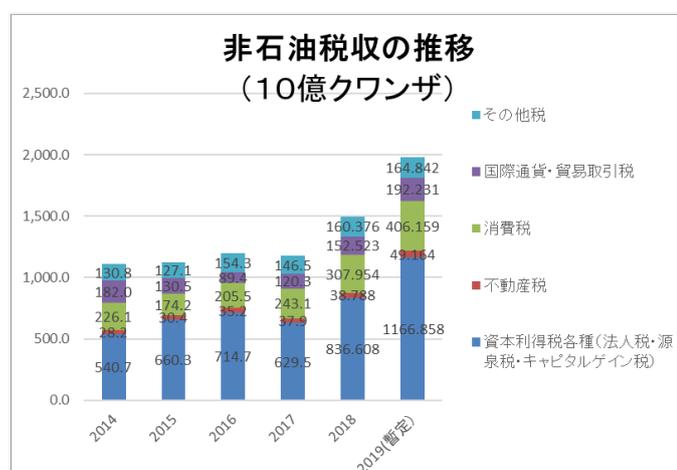
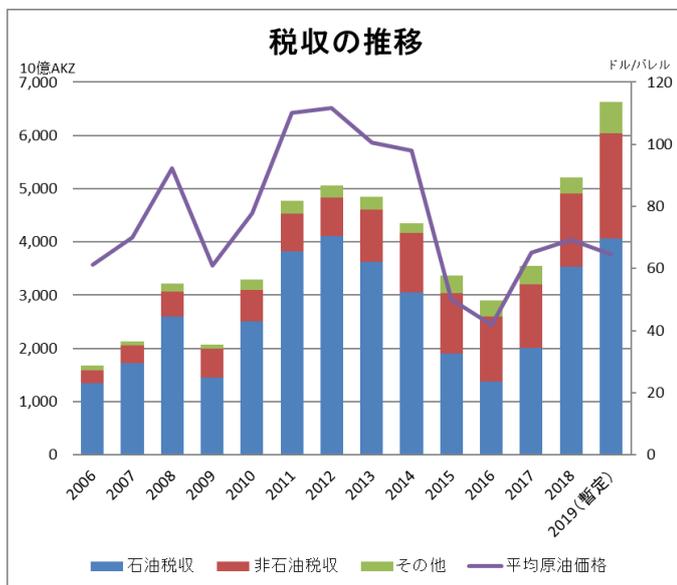


(6) GDP及び成長率



(8) 財政主要統計





2. マクロ経済指標、大幅な景気後退予測

(1) 10月8日、経済企画省は、2020年の経済について実質 GDP 成長率を-2.8%、2021年を1%と予測した [\(AA 10/8\)](#)。

(2) BFA(Banco de Fomento Angola)は、2020年の実質 GDP 成長率を-5%と予測した [\(VA 10/12\)](#)。

(3) IMF は、10月の Regional Economic Outlook for Sub-Saharan Africaにおいて、アンゴラを含むサブサハラの実質 GDP に関し、コロナ前水準への回復を2023年から2024年と予測した [\(IMF 10/22\)](#)。

(4) 国家統計院(INE)によれば、2020年第2四半期の実質 GDP は、前年同期比 8.8%減であった。セクター別に最も影響を与えたのは、運輸(-78.9%)、補助金(-71.7%)、税金(-53.6%)、建設(-41.0%)、漁業(-27.8%)、不動産(-17.6%)、ダイヤモンド(-15.6%)、

石油(-8.2%)等であった [\(INE\)](#)。

3. インフレ率が2017年11月以降最高水準に

国家統計院(INE)が発表した全国版の10月期年間インフレ率は24.34%、月間物価上昇率は1.81%であり、2017年11月以来の最高水準を記録した [\(EX 10/13\)](#)。

4. ユーロ債の金利がアフリカ2位まで上昇

ソナンゴルの会計収支の開示や対中債務繰延交渉の遅れ等により、9月中にユーロ債の金利が10.79%から12.75%に上昇した。アフリカにおいては、ユーロ債の利払い不履行により実質的なデフォルトに陥ったザンビアの24.21%に続いて金利が高い [\(EX 9/30\)](#)。

5. 新たな融資獲得は難航

フィッチ・レーティングスは、アンゴラの公的債務は数年間のうちに償還日を迎えるため新たな融資を獲得する必要があるが、現状に鑑みると融資獲得は難航すると分析した [\(VA 10/19\)](#)。

6. 石油・ダイヤモンド税収の減少

(1) 9月の石油税収は、約2,116億米ドルであり、8月の約2,274億米ドルから約158億米ドル減少した [\(AN 10/7\)](#)。

(2) 新型コロナウイルスの感染拡大によるダイヤモンド採掘事業の一部縮小などの影響を受け、8月のダイヤモンド税収は1月の約63億クワンザから約14億クワンザまで約8割減少した。 [\(EX 10/13\)](#)。

7. 輸出額の大幅減少

石油生産量の減少などにより、2020年第2四半期の輸出額は前期比40.4%減、合計約19億6,300万クワンザであった [\(EX 10/3\)](#)。

8. ソナンゴル株30%の公開(IPO)計画

ロウレンソ大統領は、ウォールストリートジャーナルのインタビューに応じた際、2022年までにソナンゴルの株を30%まで公開(IPO)する計画に変更はないと述べた [\(PB 10/11\)](#)。

9. アンゴラ国際産業見本市 (FILDA) の延期

COVID-19 の影響を受け 2020 年 7 月から 10 月に延期された第 36 回アンゴラ国際産業見本市 (FILDA) が、2021 年 7 月 6～10 日に再度延期された ([AN 10/20](#))。

10. トヨタ・アンゴラ・アカデミーの開校式実施

10 月 16 日、トヨタ・デ・アンゴラは、JICA と共同で自動車整備の指導員を育成する「トヨタアンゴラアカデミー」の開校式を実施した ([豊田通商 HP 10/23](#))。

11. 日立 ABB パワーグリッド社の変電設備事業

日立 ABB パワーグリッド社は、サブサハラ最大の太陽光発電所をアンゴラを送電網に接続するための太陽光発電向け変電設備事業を受注した。変電設備の

設計、供給、試験、試運転サービスの提供を行う ([日立 HP 10/26](#))。

12. UNITEL によるモバイル決済サービス提供

中央銀行は、大規模な金融包摂を目的とし、UNITEL に対し、モバイル決済サービス提供のための許可証を付与した ([NJ 10/20](#))。

AA: All Africa、AC: アンゴラ華人報、AN: Ango Notícias、AO: Angola Online、A024: Angola 24 horas、AP: Angop、BB: Bloomberg、CK: Club-K、CRK: Correio Kianda、DN: Diario de Noticias、DV: Dinheiro Vivo、DW: Deutsche Welle、EG: E-Global、EIU: Economist Intelligence Unit、EN: Euro News、EX: Expansão、EXP: Expresso、FT: Financial Times、FM: Forum Macao、GOV: Government's Official Portal、JA: Jornal de Angola、JN: Jornal de Negocios、LS: Lusa、ME: Mercado、MH: Macau Hub、MR: Mining Review、MW: Mining Weekly、NAM: Noticias ao Minuto、NJ: Novo Jornal、OBS: Observador、OP: O País、PA: Portal de Angola、PB: Publico、RE: Reuters、RFI: Radio France Internationale、VA: Ver Angola、VE: Valor Económico、VG: Vanguarda、VOA: Voice of America、WSJ: Wall Street Journal、XN: Xinhua Net